

令和5年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類	授業担当者
実習デザインⅡ				演習	宮原千秋
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修
2	1	30	15	前期	幼児:選択 保育士:選択
[授業の目的・ねらい] 1. 教育実習の意義と目的を理解し、幼児教育について総合的に学ぶ。 2. 実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、幼児教育実践力を培う。 3. 幼児教育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた幼児教育の改善について実践や事例を通して学ぶ。 4. 幼稚園教諭の専門性と職業倫理について理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、幼児教育に対する課題や認識を明確にする。					
[授業全体の内容と概要] 1. 幼児教育実践力の育成 (1) 子どもの状態に応じた適切なかわり (2) 幼児教育の表現技術を生かした教育実践 2. 計画と観察、記録、自己評価 (1) 幼児教育の全体計画に基づく具体的な計画と実録 (2) 幼児教育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善 3. 幼稚園教諭の専門性と職業倫理 4. 事後指導における実習の総括と評価 (1) 実習の総括と自己評価 (2) 課題の明確化					
[受講上の注意事項] 意欲的に取り組むこと 提出物の期限を守ること					
[使用テキスト] ・幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>(チャイルド本社) ・幼稚園教育要領解説(文部科学省)				[評価基準] ・受講態度(出席状況含む)・幼稚園実習関連提出物	
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]					
回	項目		授業内容		
1	オリエンテーション		実習の意義と自己課題の明確化、目標設定		
2	実習に関する実践的指導Ⅰ		教材研究と指導案作成		
3	実習に関する実践的指導Ⅱ		教材研究と指導案作成		
4	実習に関する実践的指導Ⅲ		教材研究と指導案作成		
5	実習に関する実践的指導Ⅳ		教材研究と指導案作成		
6	実習に関する実践的指導Ⅴ		教材研究と指導案作成		
7	実習のまとめ		実習報告書作成と報告会の準備		
8	実習報告会		実習を具体的に振り返り課題を明確化する		
9	セルフチェックリスト		実習の振り返りと保育者としての倫理観		
10	保育の研究Ⅰ		事例に基づいたグループワーク		
11	保育の研究Ⅱ		事例に基づいたグループワーク		
12	保育の研究Ⅲ		事例に基づいたグループワーク		
13	保育の研究Ⅳ		事例に基づいたグループワーク		
14	保育の研究Ⅴ		事例に基づいたグループワーク		
15	まとめ		実習の総括と自己評価		
実務教員としての経歴		幼稚園教諭として幼稚園に勤務8年(うち認定こども園で主幹保育教諭として1年)			
実務経験と授業の関連		幼稚園教諭としての経験を活かし、保育者を目指す学生たちの実習に必要な知識と技術を養う。			